

科目名	社会福祉演習Ⅱ J					単位	2.0
担当教員	林 博幸						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	3	授業番号	4241

●授業のテーマ

福祉政策における改革の意義と現状を探る

●到達目標

自分の関心ある分野・テーマに関する知識・情報をさらに正確なものにしつつ、福祉政策の改革がもたらしている現実を実証的にとらえる視点や方法を身につける。また、研究課題を自主的に広げて取り組んだり、集団でのディベートから学び、共通する知識や課題を発見する。

●学習内容(授業概要)

後期では、社会福祉の現実を施設現場や国民生活の実態からより具体的につかみ、各種制度や事業の到達点を評価したり、新たに生じている問題の所在を明らかにしていく。各自の関心を研究として深めていくための知識・情報をより確実なものとし、相互の共通基盤となる力量を培う。

また、ゼミ生相互の対話・交流を大切に、集団としての魅力も高めていく。

●学習内容(授業計画)

1. 後期の狙い、研究テーマの交流、発表・ゼミ活動の計画作成
2. 社会福祉をめぐるトピック（ビデオ等を用いて）
3. 国民の労働・生活の実態—各自による話題提供
4. 福祉現場をめぐる動向 — “ ”
5. 個人の研究発表と議論（高齢者福祉）
6. （障害者福祉）
7. （児童福祉）
8. （地域福祉、その他）
9. 社会福祉の事業・地域活動の現場に触れる—見学、参加
10. 個人研究の発表と議論（高齢者福祉）
11. （障害者福祉）
12. （児童福祉）
13. （地域福祉、その他）
14. 社会福祉行政の動向（白書等を用いて）
15. 半期のまとめ—成果と今後の学習課題の交流

●準備学習・事後学習の内容

研究発表の予定者は事前の準備を早めに行い、相談・指導を経て配付資料の作成や議論に向けた論点等の用意をする。他のメンバーは毎回のテーマに即した関心をもって議論に臨むようにする。議論のなかで残った疑問や追加説明を要する点などは、次回までに調べて補足する。

●成績評価方法・基準

- 1) 発表内容や議論への参加状況…60%

2) 期末のレポート試験 …40%

- テキスト（必携）
特に用いない。

- 参考文献／その他
適宜紹介したり，プリント等を配布する

- 履修上の注意

後期は，社会保障・福祉政策の次年度に向けた改革動向に関する報道が多くなるので，国・自治体の福祉行政のあり方に注目しておくが良い。

個人の研究発表の計画（分野や順番）は，実際の参加者の関心に即して調整する。